

学力向上に向けた大阪市の取組

本市では、学力向上をはじめとする、「めざすべき目標像」に向けて大阪市の教育を進めていくため、「大阪市教育振興基本計画」を踏まえ、課題や成果を検証しながら取り組んでいます。ここでは、その代表的な取組を紹介します。

「めざすべき目標像」

全ての子どもたちが学力を身に付けながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うようになることをめざします。

そのために、社会が多様化し激しく変化する中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生などを踏まえ、子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備えるようにします。

言語力や論理的思考能力の育成 P44

習熟度別少人数授業の実施 P44

学習教材データ配信 P45

ICT を活用した教育の推進 P46

学校図書館活性化事業
学校図書館活用推進事業 P46

理科教育の充実 P47

英語イノベーション事業 P47

学習サポーターの配置 P48

生活指導支援員の配置 P48

学び続ける教員サポート事業 P49

小中一貫した教育 P49

幼稚園・保育所・小学校の連携 P50

放課後ステップアップ事業 P51

学校元気アップ地域本部事業 P51

学校キャラバン隊 P52

「大阪市教育振興基本計画」

本市の教育改革の基本方針です。

詳しくは、大阪市のホームページ

(下記 URL) をご覧ください。

<http://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000209049.html>

言語力や論理的思考能力の育成

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

全ての教科・道徳などにおいて思考力・判断力・表現力などの基盤となる読解、記述、コミュニケーションといった多様な言語活動を主体的・協働的な学習活動の中に取り入れ、小中学校9年間を見通した言語活動の充実を図る授業づくりに努めています。

授業では

- ・児童生徒が自ら課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら発表するなど、主体的・協働的な学びを重視した学習活動を取り入れます。
- ・児童生徒によるディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなど、児童生徒主体の学習形態の工夫を図り、自らの考えを表現し、仲間と共にその考えを深めていけるようにします。

「言語力などの育成を図る授業づくり研修会」及び「研究発表会」などを開催し、参加型討議会や大学教授による指導講評を通して、指導法の工夫、授業改善を推進することで、児童生徒の言語力や論理的思考能力の育成につなげます。また、モデル校における取組の成果や課題などを共有し、各校における言語活動充実の取組改善に活かします。



(担当) 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9039

習熟度別少人数授業の実施

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

児童生徒の学習内容の理解度や、技能の習得の程度などにより、個に応じて編成された少人数グループでの習熟度別少人数授業に取り組んでいます。
小学校3～6年生の国語・算数と中学校全学年の国語・数学・英語の授業で実施しています。

「習熟度別少人数授業」により、児童生徒のつまずきやその原因をより詳細に把握し、個に応じたきめ細やかな指導に努めています。その他にも、複数の教員が協力して授業を行うチームティーチング(T.T)や、班ごとに分かれて行うグループ学習など、学校の課題や教科の特性に応じた、様々な指導方法による授業も実施しています。



各小中学校で、教員 1 名を「習熟度別少人数授業コーディネーター」として位置付けています。コーディネーターは、児童生徒の実態把握、校内研修の推進、学習効果の検証などを行う役割を担っています。また、より効果的な実施を図るため、コーディネーターや授業担当者を対象とした研修も実施しています。



児童生徒に基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付けさせるとともに、「できる喜び・わかる喜び」を実感させ、児童生徒の確かな学力の向上に努めています。

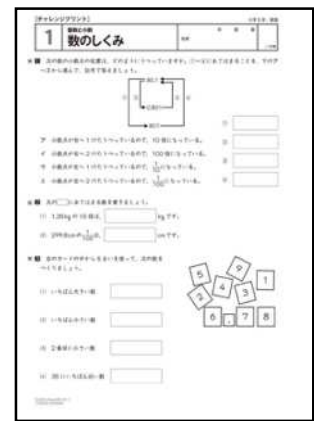
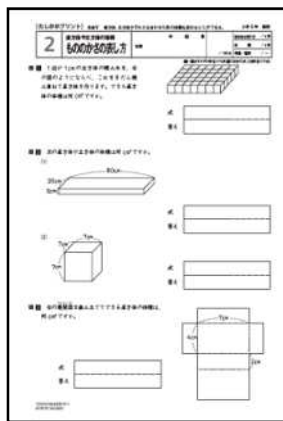
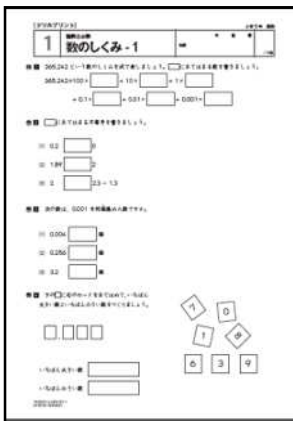
(担当) 指導部初等教育・中学校教育担当 TEL6208 - 9176・9199

学習教材データ配信

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

「学力向上を図る学習支援事業」の一環として、平成 26 年 10 月より、全ての小学校・中学校・特別支援学校などに、学習教材データの配信を行っています。児童生徒の実態に応じて選択したり編集したりした問題を、授業・放課後学習・家庭学習などで活用することにより、基礎学力や応用・発展・活用問題に対応する力の育成を図っています。

小学校（特別支援学校小学部）には国語・算数・社会・理科、中学校（特別支援学校中学部）には国語・数学・社会・理科・英語と、小学校の国語・算数・社会・理科を配信しています。



基礎基本の定着を図るドリルプリント

学習内容を観点別に評価できるたしかめプリント

確実な理解を図るフォローアッププリント

発展的な内容のチャレンジプリント

配信される学習教材データは、基礎的・基本的な問題はもとより、本市の課題である記述問題や活用問題（応用問題）が充実しており、繰り返しの練習や、個に応じた学習などに活用できます。

各学校では、習熟度別少人数授業や家庭学習などあらゆる場面で活用方法を工夫し、学力の向上に努めています。

(担当) 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9039

ICTを活用した教育の推進

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

モデル校では、タブレット端末などICT機器を効果的に活用し、「自分で考え判断する力」「自分の考えを豊かに伝える力」「最新の情報機器を使いこなす力」を身に付け、変化する社会で自律できる子どもの育成をめざし、「新しい学び」の実現に向けた取組を進めています。

児童生徒が教え合い学び合う協働的な学びを実現します。

思考力、判断力、表現力などにつながる言語活動の充実を図ります。

児童生徒一人一人の能力や特性に応じた指導の充実を図ります。

小中学校の教員を対象に、ICT機器を効果的に活用した授業づくりや指導方法などについて研修を行い、教員の情報活用指導力の向上に取り組みます。

学習活動の中で教え合う場面が増えます。



グループで話し合い学び合う場面が増えます。



(担当) 大阪市教育センター教育振興担当 指導研究グループ TEL6572 - 0667

学校図書館活性化事業

学校図書館活用推進事業

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

学校図書館の開館回数を増やすとともに、児童生徒の読書活動を推進する魅力ある学校図書館づくりを行うため、学校・地域・市立図書館が連携して、「学校図書館活性化事業」「学校図書館活用推進事業」を実施しています。

大阪市図書標準(小学校7,000冊、中学校8,000冊)の達成をめざすとともに、学校図書館補助員やボランティアの方々などの協力を得て、様々な取組を進めています。

【活動例】

- 図書館の開館時間の拡大
- 読み聞かせやお話し会
- ディスプレイの工夫
- 図書の整理
- 本の修理



(担当) 中央図書館利用サービス担当学校図書館支援 TEL6539 - 3307

指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9046

理科教育の充実

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

小学校5・6年生を対象に理科補助員を配置し、理科の授業で行う観察・実験活動を充実させるとともに、企業や団体の技術者と連携した理科の特別授業を実施しています。

理科補助員を配置し、観察・実験活動を充実させることにより、理科の授業に興味を持ち、理科の楽しさを味わうことができる児童の育成をめざします。企業・団体などによる観察・実験を取り入れた「理科特別授業」を行うことにより、児童の理科への関心を高めます。系統的な理科の教育内容を検討し、平成26年度からは、モデル校を設置し、小学校1年生から6年間を見通した理科教育の充実に係る実践研究を行っています。



(担当) 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9039

英語イノベーション事業

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育成するため、ネイティブ・スピーカーを配置し、英語教育の強化を図る取組を行っています。

英語教育重点校での取組の推進

英語教育重点校(中学校8校、小学校19校)で、小学校1年生から英語教育を行っています。フォニックス(文字付き音声指導)などを取り入れた、音声を重視した指導を実施しています。

児童生徒が生きた英語に触れる機会の増加

ネイティブ・スピーカーを各中学校区に配置しています。

小学生、中学生が集中的に英語を使うイベント「イングリッシュ・デイ」を実施しています。



(担当) 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9197

学習サポーターの配置事業

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

平成 26 年度より、小中学校で学力面において自校の現状や課題を分析し、解決していこうとする取組に対し、支援を行う必要性が高く、その効果が期待できる学校に「学習サポーター」を配置し、児童生徒の学習を支援することで学力の向上を図っています。

学習サポーターは、国語・算数・数学などの授業を中心に、子どもへの個別支援や励まし、教材準備などの学習支援を行っています。



(担当) 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9046

生活指導支援員配置事業

(学校サポート改革)

平成 26 年度より、小学校 39 校・中学校 41 校に、いじめ・問題行動などに毅然とした対応をとるための体制を構築し、いじめ・不登校・問題行動などの課題を解決するために、警察官経験者や児童生徒の指導経験者を生活指導支援員として配置しています。

生活指導支援員は、学校組織の一員として教職員と協働し、以下の業務を行うことで学校を支援し、授業規律の定着を通して学力向上につなげています。

問題行動の発生時における児童生徒への指導や不登校児童生徒への対応

生活指導サポートセンターなどの関係機関との連携・調整
問題行動や不登校などの未然防止に向けた児童生徒及び保護者への指導・助言

児童生徒の問題行動の解決や不登校の解消に向けて、全教職員の共通理解を図るとともに、児童生徒指導に関する助言の実施 など



(担当) 指導部中学校教育担当 生活指導グループ TEL6208 - 9174

学び続ける教員サポート事業

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

小中学校の全ての教員が、年間1回以上の授業研究を伴う校内研修を実施することにより、若手、中堅、ベテラン教員が共に学び合う取組を行っています。

教育指導員が、全ての小中学校を2～5回訪問し、管理職、校内研修主担者、メンター（より経験を積んだ教員）及び若手教員グループに対し、校内研修の計画・立案・実施への支援や授業後の研究協議などでの指導助言を行います。

「授業研究を伴う校内研修の実施回数」は、平成26年度に比べて小中学校ともに大きく増加し、全国平均を大きく上回りました。

子どもの主体的な学びを重視した授業の実現に向け、全ての教員が共に学び合い、学び続けることで、学校のさらなる活性化をめざします。



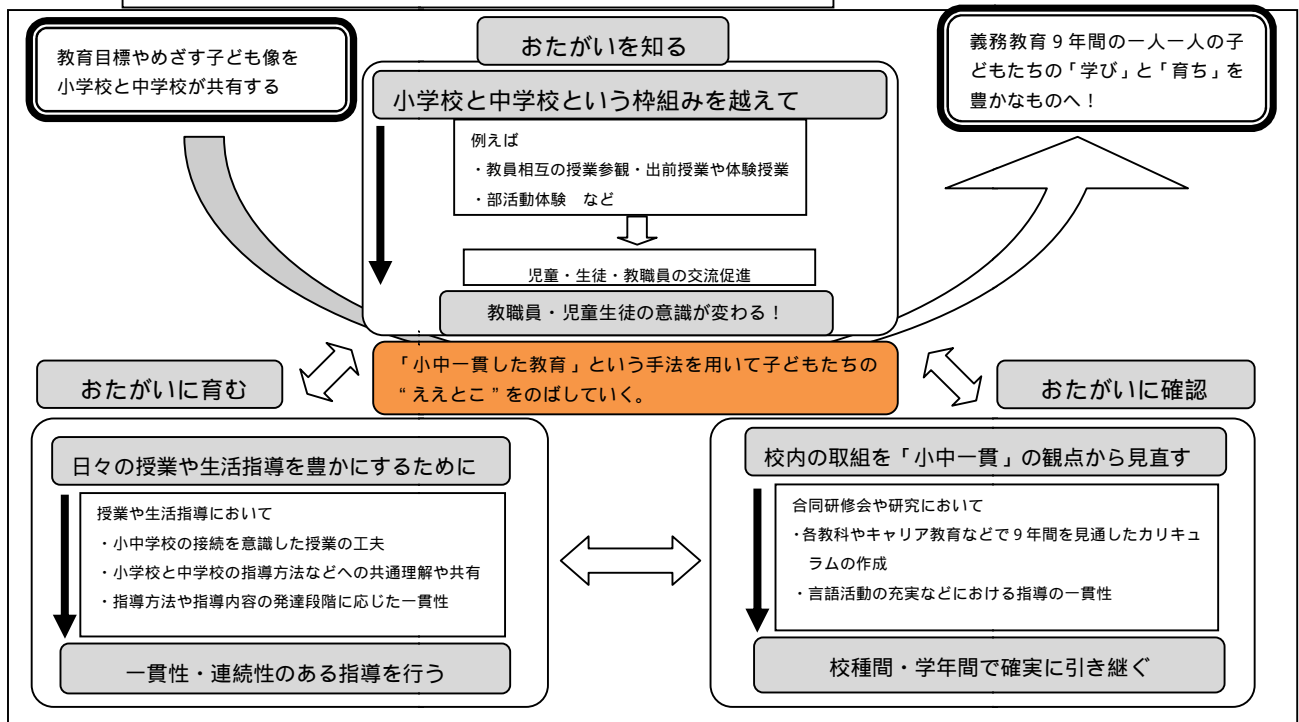
(担当) 教育センター教育振興担当 基本研修グループ TEL6572 - 0657

小中一貫した教育

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

全ての小中学校では、平成22年3月に策定した「大阪市小中連携推進プラン」に則り、学習指導要領に準拠した教育課程を9年間見通して編成するなど、学力向上、体力向上、健全育成などを柱に小中一貫した教育に取り組んでいます。

小中一貫した教育推進のポイント(リーフレットより)



< 施設一体型小中一貫校を設置しています >

- やたなか小中一貫校
- 小中一貫校 むくのき学園
- いまみや小中一貫校
- 日本橋中学校区小中一貫校（平成29年 4月開校予定）

施設一体型小中一貫校で推進されている小中一貫した教育の成果を、全市の小中学校へ広めます

（担当） 教育センターカリキュラム改革推進担当 TEL6572 - 0582

幼稚園・保育所・小学校の連携

（カリキュラム改革・グローバル化改革）

就学前教育では、規範意識や基本的な生活習慣、言語及び数を含む概念、運動意欲や体を動かす力など「知・徳・体」をバランスよく育ていけるよう取り組んでいます。

平成25・26年度に、市立幼稚園、保育所、小学校、私立幼稚園の代表者、教育委員会事務局、こども青少年局による大阪市幼保合同研究協議会を立ち上げ、「就学前教育カリキュラム」を策定しました。

その中には、「小学校教育への接続」として、就学までに育みたい力や、幼保小交流の具体的な取組について、また「指導者を含む大人の役割について」として、子どもにかかわるすべての大人に必要な配慮について示しています。

平成27年度には、市立幼稚園と公立保育所において、本カリキュラムを踏まえた実践を行うとともに、市内の全ての就学前施設には本カリキュラムを周知していきます。



平成27年10月には「就学前教育カリキュラム」概要版を作成しました。

（担当） 指導部初等教育担当 幼稚園教育グループ TEL6208 - 8173

放課後ステップアップ事業

(カリキュラム改革・グローバル化改革)

平成 21 年度より、全ての小学校において、授業で学習したことの復習・予習の場を提供し、指導員とともに学び、わかる喜びや勉強の楽しさを味わわせ、児童の学習意欲の向上や自主学習習慣の定着につなげることを目的に、放課後の自主的な学習の支援をしています。

全ての小学校では、放課後の時間帯を利用した「ステップアップタイム」を設定し、児童に自主学習の機会を設けています。児童はその時間に、教員や放課後ステップアップ指導員の声かけのもと、宿題や学習プリントなどを中心に自主学習に取り組んでいます。



(担当) 指導部教育活動支援担当 学力向上・英語教育グループ TEL6208 - 9046

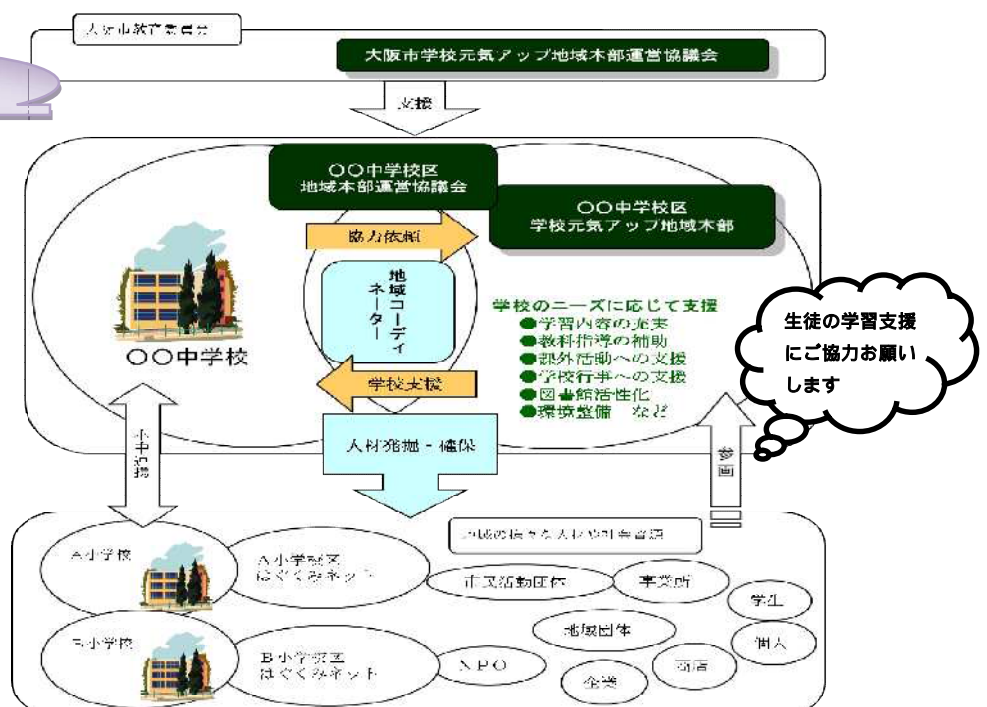
学校元気アップ地域本部事業

(ガバナンス改革・学校サポート改革)

保護者や地域の方々による学校教育活動のサポートを一層充実させるために、学校・家庭・地域が連携した教育コミュニティづくりを進めています。

事業イメージ

中学校区において、地域の方々の協力を得ながら、地域社会全体で子どもを育てる仕組みとして「学校元気アップ地域本部」を設置し、生徒の生活習慣の確立や学力向上などの課題解消に向け、各学校のニーズに応じた取組を行っています。



(担当) 指導部教育活動支援担当 TEL6208 - 9171

学校キャラバン隊

(学校サポート改革)

平成 20 年度より、幼稚園・小学校を中心に教育委員会の指導主事チームを派遣し、「子どもの生きる力をはぐくむ家庭のちから」をテーマに、保護者や地域住民、教職員との懇談会を開催しています。

これまでに120を超える学校園などで懇談会を実施しています。

子どもの生きる力の育成には、基本的な生活習慣（「早寝、早起き、朝ごはん」など）の確立、学習環境の整備、自尊感情の育成などが大切であることを保護者に啓発しています。平成26年度からは、携帯電話・ゲーム機の使い方や問題点についても話題に取り上げています。

今後も学校キャラバン隊を派遣し、啓発活動に取り組みます。



【参加者の声】

- ・学力向上には学校・家庭・地域のつながりが大切だと思いました。
- ・睡眠や朝ごはんの大切さを知り、学力向上には、基本的な生活習慣の定着が大切だと感じました。
- ・就学に向けて、保護者としての心構えができました。

(担当) 指導部教育活動支援担当 人権・国際理解教育グループ TEL6208 - 8128

効果があった取組例の情報提供にご協力いただいた学校

- | | | |
|---------|----------|---------|
| ・中野小学校 | ・大東小学校 | ・玉造小学校 |
| ・開平小学校 | ・佃西小学校 | ・豊新小学校 |
| ・城北小学校 | ・中浜小学校 | ・城東小学校 |
| ・成育小学校 | ・茨田北小学校 | ・東粉浜小学校 |
| ・田辺小学校 | ・東田辺小学校 | ・喜連小学校 |
| ・瓜破西小学校 | ・新平野西小学校 | |
| ・春日出中学校 | ・宮原中学校 | ・鶴橋中学校 |
| ・新生野中学校 | ・董中学校 | ・茨田中学校 |
| ・昭和中学校 | ・田辺中学校 | など |

《問合せ先》

カリキュラム改革推進室

・ 指導部

教育活動支援担当（学力向上・英語教育） 6208 9039

・ 大阪市教育センター

教育振興担当（指導研究） 6572 0667

カリキュラム改革推進担当 6572 0582